



新城市民病院

Shinshiro Municipal Hospital

基本理念

“温かい心と 確かな技術で” 地域住民に
信頼され 選ばれる病院”

新城市民病院

新城市民病院憲章

新城市民病院は、奥三河の基幹病院として

1. 患者様本位の医療を行い、思いやりのあるサービスに努め、愛される病院となるよう心がけます。
2. 安全で適切な医療を提供するため、全職員が自己研鑽に努め、質の高い医療サービスを提供します。
3. 高度医療機器の整備、病診連携の促進を図り地域住民のニーズに対応した医療に努めます。
4. インフォームド・コンセントを重視し、プライバシーの尊重及び公平・公正な医療の提供によって、安心感と信頼感のもてる医療を提供します。
5. 健全な病院経営を目指し、業務効率の向上に努めます。

ご挨拶



院長 金子 猛

2024年4月より院長を拝命いたしました金子猛です。2006年3月に新城市民病院に赴任して以来、消化器外科医として業務をこなしてまいりました。

新城市は静岡県に隣接した愛知県東部にあり、東三河地区の北部に位置する自然に恵まれたところです。人口減少が著しい場所でもあり高齢化も進んでおります。当院は山間部の入り口に位置しているため、新城市及び北設楽郡のほとんどの方が、何かあればまずは当院へ来院、あるいは開業医の先生方から御紹介いただけることが多く、初期診療として重要な拠点病院の役割を担っていると自覚しております。

私が赴任した頃は医者不足がピークに達していた時で救急医療どころか通常診療も普通に行えず、受診された患者様、さらには豊川、豊橋地区の病院へ多大な御迷惑を被っております。関係者各位の努力により医師数も増え、受け入れすることのできる患者様も多くなっていると考えておりますが、周辺地域の方からしますと、まだまだ至らない状況であるのかもしれない。

こうした医療スタッフの獲得も急務とは思いますが、全国的な状況を見ると思い描く通りの人員獲得は難しくなっております。周辺病院との関連を密にし、当院としての役割を明確にすることで地域の皆様に必要な医療行為を提供させていただくのが現時点での良好な在り方と思われ、周辺医療機関との連携を深めつつ診療にあたらせていただく所存であります。

当院の基本理念である「温かい心と確かな技術で地域住民に信頼され選ばれる病院」であり続けられるように職員一同、これからも日々精進を続けていく所存であります。

これからも新城市民病院に対するご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当院の概要

名 称	新城市民病院 Shinshiro Municipal Hospital	指定医療機関
病院長	金子 猛	・保険医療機関 ・災害拠点病院 ・労災保険指定医療機関 ・へき地医療拠点病院 ・指定自立支援医療機関(更生医療・育成医療・精神通院医療) ・臨床研修指定病院 ・特定疾患治療研究事業委託医療機関 ・児童福祉法指定療育機関 ・身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関 ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関 ・生活保護法指定医療機関 ・救急告示医療機関 ・結核指定医療機関 ・病院群輪番制病院 ・母子保健法指定養育医療機関 ・B型・C型肝炎患者医療給付事業指定医療機関 ・戦傷病者特別援護法指定医療機関 ・肝疾患専門医療機関 ・原子爆弾被害者医療指定医療機関 ・難病医療協力病院 ・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関 ・DMAT指定医療機関 ・公害医療機関 ・DPC対象病院 ・母体保護法指定医の配置されている医療機関
所在地	愛知県新城市字北畑32番地1	
医療圏	愛知県東三河北部医療圏	
病床数	199床(一般病床)	
診療科	総合診療科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科、大腸・肛門外科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科	
主な医療器械	X線CT装置(80列マルチディテクタ)、MRI装置、超音波診断装置、内視鏡装置(経口、経鼻)、X線一般撮影装置、乳房X線撮影装置、内視鏡下手術セット、超音波凝固切開装置、X線骨密度測定装置、ホルミウムレーザー装置、人工透析装置、多項目自動分析装置、化学発光免疫測定装置、血液ガス分析装置、微生物検査同定・薬剤感受性検査機器、長時間心電図記録器、脳波計、PCR装置、睡眠ポリグラフ・自動解析装置	
施設規模	敷地 11,649.140㎡ 建築面積 5,195.641㎡ 延床面積 23,847.393㎡ ・南病棟 SRC地上8階 地下1階 ・外来棟 RC地上4階 地下1階 ・北病棟 RC地上4階 地下1階 ・リハビリ棟 RC地上3階 ・西病棟 RC地上5階 地下1階 ・MRI棟 S平屋建	
その他施設	院内保育所(定員10名) 医師住宅(病院所 有2棟8世帯)その他民間からの借り上げあり 職員食堂 喫茶室 理容室 売店 看護 学校生徒研修室	



主な沿革

昭和20年11月20日	町立新城病院として開院 診療科目 内科、外科、耳鼻科、眼科、歯科、病床数20床、職員 医師5名、薬剤師2名、X線技師1名
昭和22年4月1日	新城町国民健康保険組合に移管、新城国保病院と改称
昭和22年9月1日	一般病棟（25床）新築、病床数40床に変更
昭和25年11月1日	一般病棟（25床）、結核病棟（76床）増築、病床数126床に変更（一般50床、結核76床）
昭和27年10月1日	組合立新城伝染病棟（45床）併設増築、病床数177床に変更（一般50床、結核82床、伝染45床）
昭和33年11月1日	市制施行により新城市民病院と改称
昭和34年2月5日	病床数227床に変更（一般86床、結核96床、伝染45床）
昭和37年5月31日	一般病床（60床）新設、病床数287床に変更（一般146床、結核96床、伝染45床）
昭和40年12月15日	組合立伝染病棟（30床）増改築、病床数270床（一般144床、結核96床、伝染30床）に変更
昭和43年12月4日	病床数を一般192床、結核48床、伝染30床に変更
昭和54年1月1日	病床数262床に変更（一般216床、結核16床、伝染30床）
昭和57年4月1日	病床数326床に変更（一般280床、結核16床、伝染30床）
平成元年4月1日	病床数317床に変更（一般301床、結核16床）
平成8年11月26日	災害拠点病院に指定
平成14年6月1日	医療相談室開設
平成14年12月2日	結核病床廃止、病床数301床に変更（一般301床）
平成14年12月26日	LDR室新設
平成15年8月19日	病床を一般255床、療養46床に変更
平成16年10月1日	地域医療連携室開設
平成17年9月15日	病床数271床に変更（一般255床、療養16床）
平成19年10月1日	オーダーリングシステム導入、64列マルチスライスCT導入、ホルミウムレーザー装置導入
平成24年4月1日	病床数を201床に変更（一般201床）
平成24年11月26日	電子カルテシステム導入
平成26年3月27日	DMAT指定医療機関に指定
平成27年1月1日	病床数を199床に変更（一般199床）
平成27年1月1日	地域包括ケア病床 開設
平成28年4月1日	DPC対象病院に認定、地域包括ケア病棟 開設



1970年代の新城市民病院



現在の新城市民病院

学生の受け入れ

当院では、医療従事者を目指す医学生、看護学生、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士等の学生の実習や見学を積極的に受け入れています。

また、将来、医療に興味を持ってもらえるように中学生、高校生の職場体験も積極的に受け入れています。



医学生実習



看護実習



職場体験

災害拠点病院&DMAT

災害拠点病院に指定されている当院は、毎年災害時の災害訓練等を行っています。また、医師・看護師・業務調整員で構成するDMAT (Disaster Medical Assistance Team) と呼ばれる災害派遣医療チームを有しており、災害の急性期(概ね48時間以内)に活動できるよう専門的な研修・訓練を受けています。

2024年1月に発生した能登半島地震では、厚生労働省DMAT事務局からの要請により、七尾市と輪島市にDMAT隊を派遣しました。

当院のDMAT隊(8名)

医師2名、看護師4名、臨床工学技士1名、事務1名

車2台



被災地での活動の様子



当院のDMAT隊員

へき地医療拠点病院&代診医派遣

当院は、へき地医療拠点病院の指定を受けており、東三河北部医療圏内の作手診療所、東栄診療所、つぐ診療所、富山診療所等のへき地診療所に代診医を派遣しています。



新城市作手診療所



東栄町国民健康保険東栄診療所

市民のための健康・医療拠点

地域に信頼と安心感を提供する当院の有り様を紹介するため、市民参加型の「病院祭」を行ったり、情報発信のために、毎月「病院だより」の発行、広報ほのかに「ほのか診察室」を掲載しています。また、地域の方が気軽に参加できる「健康教室」の開催、地域の方の健康増進の啓蒙のため、地域に出向いての「出前健康講座」を開催しています。



健康教室



病院祭



出前健康講座

【看護部の基本理念】

「温かい心のこもった患者さん本位の看護を提供いたします」



【看護の基本方針】

1. 看護者の倫理綱領を遵守し患者さん本位の看護実践に努めます。
2. 三重の関心のもてる看護者の育成に努めます。
3. 職能を活かしチーム医療に努めます。
4. 患者・職員の満足度が高まる業務改善に努め、地域に根付いた病院経営に努めます。



【看護提供方式】

継続受け持ち方式＋固定チームナーシング



【地域医療連携】

地域住民の医療ニーズに応えるため、保健・医療・福祉の連携を図り、安心して医療を受ける環境の整備を行うとともに、地域医療機関・各施設などと連携して地域住民が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援しています。

【医療福祉相談】

病気になると、健康な時には思ってもみなかった問題や心配事がおきてくることがあります。皆さんが安心して療養ができ、1日も早く“より良い社会生活”を送ることができるように医療福祉連携室を設置しています。

当院の医療福祉連携室では、医療ソーシャルワーカーや看護師と連携し、さまざまな相談に応じ、患者さんやご家族と話し合っより良い解決方法を見つけるお手伝いをしています。

【愛知県東三河北部医療圏】



この地域の基幹病院です。
愛知県の面積の20%を占めます。

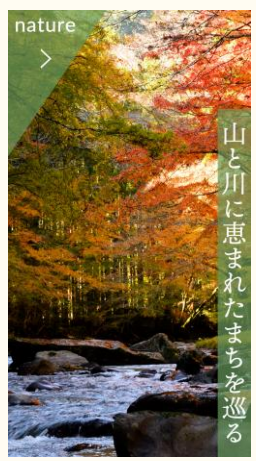


各フロアのご案内

※敷地内禁煙です。 

7階	手術室
6階	6階病棟 ※現在休床中
5階	5階病棟(地域包括ケア病棟:500～586号室)
4階	4階病棟(一般病棟:400～486号室) 自動販売機コーナー
3階	3階病棟(一般病棟:300～386号室) 人工透析センター 理容室
2階	専門内科 泌尿器科 脳神経外科 小児科 婦人科 眼科 皮膚科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 精神科 内視鏡センター 検査室 ラウンジ(自動販売機コーナー)
1階	総合診療科 外科 整形外科 中央処置室 採血室 救急室 薬局 リハビリ室
	健診センター 放射線室(レントゲン室・血管造影室・CT室 ・MRI室) 売店
	医療福祉連携室 総合案内(受付・会計) 時間外受付 喫茶室
	キャッシュコーナー 自動販売機コーナー
地下1階	

愛知県新城市



- 電車でお越しの方
JR飯田線 新城駅下車。新城駅から徒歩約10分。
- 車でお越しの方
新東名高速道路 新城インターから約10分。
東名高速道路 豊川インターから約20分。

新城市民病院
〒441-1387 愛知県新城市字北畑32番地1
TEL 0536-22-2171
FAX 0536-22-2850
ホームページ <https://www.city.shinshiro.lg.jp/hospital/>
E-mail byouin@city.shinshiro.lg.jp